



暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして
みんなが
住んでよかった
と思える川西市に...

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市会議員団控室 TEL 740-1111 (内線4020)
直通FAX 759-1811
黒田みち事務所 TEL 795-4760
たんぽぽだよりブログ
http://kurodamich.exblog.jp



「医療基本構想」は立ち止まって見直しを

「病院の実態と市の説明は違い過ぎる」



6月議会で追及

市立川西病院は4月1日付で指定管理者制度に移行し、状況を毎月の「たんぽぽだより」でお伝えしていますが、市の説明と実態は大きく乖離しています。6月議会でもこの点を追求しましたが、このまま突き進むことの危うさと立ち止まって精査すべきでは、との思いを強くしました。(質問した3つのテーマは別項記載)

看護体制の変更

たんぽぽだより前号で、看護師9名の退職(5月末)と4階北病棟の休床(37床)、看護体制の7:1から10:1への変更をお伝えしましたが、その後変更していません。

入院・稼働率は激減

4月の入院(1日平均)は136.9人、病床稼働率は58.5%と激減。入院(1日平均)は2017年度の191.1人から協和会が引き継ぎ期間とした2018年度156人へ、病床稼働率も同81.7%から66.7%へ減少しましたが、歯止めがかかっていません。

なぜ事実を言わない

4月の外来(同)は344.2人で、傾向は同じです。(表1)

退職予定だった看護師9名のうち、2名が慰留に応じた半面、新たに2名が退職、1名が新規雇用され、職員配置は(表2)のようになっています。

3月15日の新年度病院予算委員会での答弁は「入院機能として、平成30年度における6病棟編成を継続し、原則として現状の看護師配置を維持します」

3月26日の市立病院整備調査特別委員会では「今、6病棟を運営しております。4病棟は急性期病棟、1病棟は地域包括ケア病棟、残りの1病棟は緩和ケア病棟、この6病棟はそのまま運営してまいります」

6月議会 3つのテーマで討論

- ①一人ひとりの尊厳、多様性が尊重されるまちづくり～(1)医療的ケアが必要な子どもを支えること(留守家庭児童育成クラブ・保育所・認定子ども園への看護師配置を行うこと)、(2)LGBT/SOGI(性的指向・性自認)の方に寄り添い支えること(パートナー制度をつくること、中学校の制服のあり方の見直しなど)
- ②市の契約の公正性・公平性・透明性の向上をはかること③市立川西病院の管理・運営についての情報提供・説明責任について(4月からの状況、市民説明会を実施すること、新病院の計画の見直しをすることなど)

「現状を継続する」と言い張ってきたのに、4月1日から3階南病棟(昼)と4階北病棟(夜)の2病棟は急性期病棟からER(救急専門)に変更。裏面に続く

「現状継続」反故に

※平成31年度(2019年度)市立川西病院事業計画書「平成30年度における6病棟(実稼働可能病床数234床)の病棟編成を継続し、原則として現状の看護配置を維持します」

市立川西病院の状況について (表1)

(市の説明(4月26日)に対する日本共産党議員団・申入れ書への回答資料などを参考に作成)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度(4月)	3月比
入院(1日当)	152.7人	173.8人	191.2人	191.1人	156.0人	136.9人	(-19.1人)
外来(1日当)	423.2人	457.7人	456.6人	422.9人	395.0人	344.2人	(-50.8人)
病床稼働率	76.7%※	75.2%	81.7%	81.7%	66.7%	58.5%	(-8.2%)

※稼働病床数199床 その他の年度は234床

(表2)

常勤職員	予算委員会	当初(元市職)	4月	5月	6月
医師	32(24)	31(21)	31	30	30
看護師	141	141(103)	141(65)	141(65)	138(62)
末日退職	—	—	—	-4	-3
医療技術職	48	49(18)	49	49	50
事務職	—	17(0)	17	17	17
計	—	238(142)	238	237	235
単位は人	()内 市の職員から 移籍数	()内 急病病棟 配置看護師数	()内 研修医-1	研修医-1	外科医-1 小児科医+1 薬剤師+1

6月13日
聞き取り時点
5月末4人退職



6月1人雇用、月末2人+1人退職
7月末1人+1人退職
計 看護師1人雇用、9人退職